

## 治療援助論演習

科目到達目標:検査や治療に必要な基本的技術について学習する。  
安全管理、感染予防の視点を理解して援助を行うことができる。  
救命救急処置の基本について学習する。

科目責任者(所属):栗納 由記子(基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	
1	4/13(水)	4	112	安全な医療環境と看護業務/治療・検査における看護の役割 救命救急処置技術:心肺蘇生法	栗納 由記子 深田 美香 笠城 典子 奥田 玲子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	治療・検査を医療安全の視点から理解し、看護の役割が理解できる。検査や治療に共通して必要な基本的技術について安全管理の視点が理解できる。救急法の流れを理解し、1次救命処置の方法を習得する。	医療における危険要因、診療補助業務における危険な医療行為、救命処置、止血法、除細動	
2	4/27(水)	1	基礎看護学実習室	酸素療法、吸引における基本知識 呼吸を整える技術:酸素吸入			口腔内吸引を実施するときの留意点を習得できる。 酸素ポンプを用いた酸素吸入の援助技術を習得する。	酸素療法、吸入、吸引、安全確認	
3		2							
4	5/11(水)	1	基礎看護学実習室	感染予防技術:無菌操作				感染予防技術の原則を理解し、無菌操作を習得する。	感染予防技術、無菌操作技術
5		2							
6	5/25(水)	1	基礎看護学実習室	感染予防技術:膀胱留置カテーテル				無菌操作で膀胱留置カテーテルを挿入できる。	感染予防技術、無菌操作技術、膀胱留置カテーテル
7		2							
8	6/8(水)	1	122	与薬を安全に行う技術				安全で正確に与薬を行うための知識と技術を習得する。 与薬の種類とその特徴について習得する。 検査の種類とその内容を理解できる。 検体の適切な採取方法を理解できる。	薬物の種類と管理、体内における吸収経路、検体検査、生体検査、検査値に影響する要因、検体採取と取り扱い、検査データの看護への活用
9		2							
10	6/22(水)	1	基礎看護学実習室	与薬の技術:静脈内持続点滴				安全で正確な点滴の準備と点滴の管理を習得する。	点滴静脈内注射、輸液管理方法、輸液ポンプ
11		2							
12	6/29(水)	1	基礎看護学実習室	与薬の技術:筋肉注射				安全で正確な筋肉注射の技術を習得する。	刺入方法、皮下・皮内・筋肉内注射、正確な技術、安全な技術
13		2							
14	7/13(水)	1	基礎看護学実習室	検体採取と取り扱い方法 症状・生体機能管理技術:採血				安全で正確な静脈血採血技術を習得する。	静脈血採血、安全な技術、注射器の扱い方、検体の取り扱い
15		2							

教育グランドデザインとの関連:2,3,4,5,6,7

学位授与の方針との関連:1,2,3,4

指定教科書:1. 深井喜代子:基礎看護学③基礎看護学技術 I・II メヂカルフレンド社

参考書:1. 香春知栄、斎藤やよい:基礎看護技術 看護過程の中で技術を理解する、南江堂

2. 三上れつ、小松万喜子:演習・実習に役立つ基礎看護技術 根拠に基づいた実践を目指して、ヌーベルヒロカワ

3. 川村治子:医療安全 看護の統合と実践2、医学書院

4. 川村治子:医療安全ワークブック、医学書院

評価:演習課題30% 定期試験 70%